

最新の入塾案内

- 1ページ目：本ページ …「**無料アプリ**」を使った取り組み
- 2ページ目：「**中3時に伸びる！**」
2025年卒業生データ追加
本科生(集団授業)、現行の内申点制度が開始されて以降
公立高校を受験した卒業生の全数データより
- 3ページ目：公立高校進学へ向けて
- 4&5ページ目：「電子ホワイトボード」のご紹介

Quizlet アプリを利用した暗記ツールを 数多く作成。塾生に無料公開しています！！

「**高校入試英語**」をメインターゲットに、
各教科の「**定期考査対策**」にも利用していきます。



(色) 色

【メインの単語カード】
タップで解答表示

color

complete

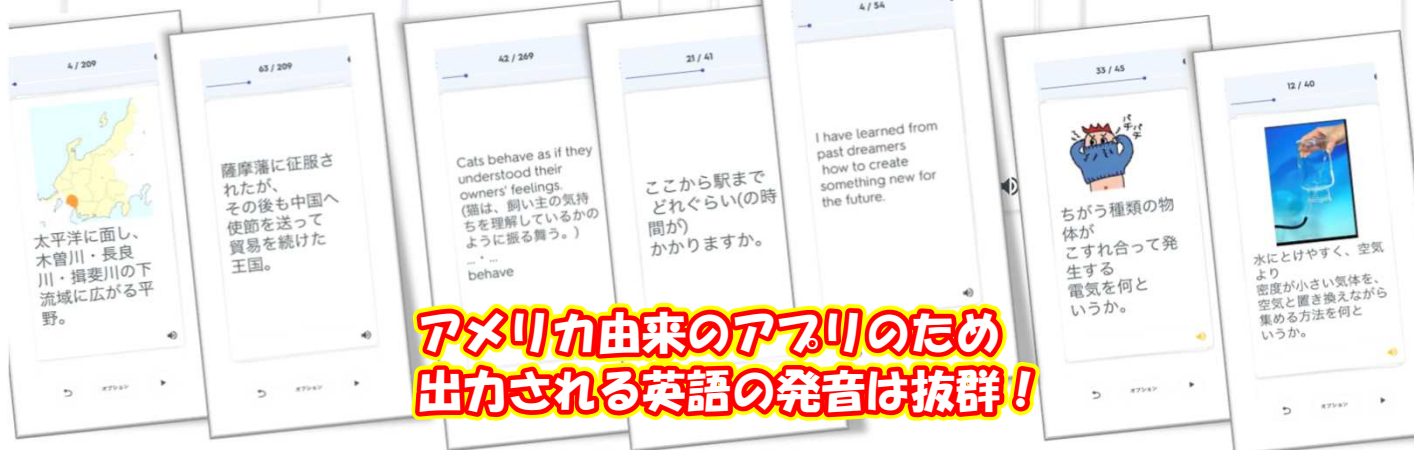
完成させる

wake ... woke ...
woken

If I were you, I would
cook her dinner.

気軽に学習できる
【4択モード】

アメリカ由来のアプリのため
出力される英語の発音は抜群！



周囲もがんばる分、成績の向上が難しい中学3年…当教室はこの**中3時の数値向上**が目標です。

☆ 学力模試偏差値 の場合

本科(集団授業)受講生、公立受験者63名の**全数データ**(卒業生9年間)

…うち、中3.4月以降入塾の3名は、中3.1学期の数値を2年生分として適用



分布 …公立受験者の全数データ(卒業生9年間)

…中3.4月以降入塾の3名は、中3.1学期の数値を2年生分として適用

偏差値	～44	45～49	50～54	55～59	60～
2年最終3回分の平均	10名	15名	19名	12名	7名
3年最終3回分の平均	1名	10名	19名	16名	17名

コツをつかんだ生徒は、
「自ら伸びる」
そうあってほしい！

約4割いた、偏差値50以下…「平均点がとれない生徒」の大幅減。

当方の自慢、まずはココです。

当教室では、塾用模試として信頼の高い、「進研テスト・進研Vもし」を採用しています。

左記のうち、**偏差値48未満の生徒**

(平均点がとれない・とれなかった生徒)も頑張っています！

中2後半に偏差値が48未満の生徒のみで算出



☆ 学校評定 … 5段階×9教科 45ポイント満点 の場合

本科受講生、公立受験者63名の**全数データ**

(卒業生9年間)



左記のうち、1年から内申点計算の対象となった、

高卒5年目～現高1の全数による「1年→3年比較」



うち、【35/45未満だった生徒は？】…すでに40名の生徒はそんなに上がりませんから……。



当教室は**学校定期考査**に対し、過去問の配布等、「熱心な？指導」は行いません。

自分でやるべきこと・できることは、まずは自分で…と期待していきます。

「3年時に伸びる」…可能な限り待つ姿勢を大切にしている結果だと考えています。

分布 …公立受験者の全数データ(卒業生9年間) … (参考)すべて「4」で「36」になります。

/45満点	～33	34～39	40～45
2年時評定	26名	24名	13名
3年時評定	9名	25名	29名

中3.3学期の確定評定

各教科の平均(5段階評価)

英語	数学	国語	理科	社会	実技4科
4.4	4.4	4.0	4.3	4.3	4.3

当方は決して優秀な生徒ばかりが集まる学習塾ではありませんが、最後にはなかなか立派な結果を残してくれる生徒が多いのが自慢です。

次ページ YNの考え……

【公立高校へ行こう！】

目標は公立高校進学！

…だから内申点(学校の評価)が大切！！

↑これ、少し違います……。

現行の大阪府公立高校入試は、以下のようになっています。

※令和6年度入試で予定されている「普通科」のみ表記。入試得点は「1問3点」として算出しています。

タイプⅠ（学力超重視）	タイプⅡ（学力重視）	タイプⅢ（バランス）	タイプⅣ（内申重視）
主な近隣高校 安倍野以上のすべての普通科 ・阪南	主な近隣高校 山本・花園・藤井寺 八尾翠翔 ・みどり清朋	主な近隣高校 日新・大塚・懐風館 藤井寺工科・OBF	主な近隣高校 八尾北・松原
合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 630 点 □ 中3評定 162 点 □ 2年評定 54 点 □ 1年評定 54 点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 4.2 点 □ 中3評定 3.6 点 □ 1.2年評定 1.2 点	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 540 点 □ 中3評定 216 点 □ 2年評定 72 点 □ 1年評定 72 点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 3.6 点 □ 中3評定 4.8 点 □ 1.2年評定 1.6 点	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 450 点 □ 中3評定 270 点 □ 2年評定 90 点 □ 1年評定 90 点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 3.0 点 □ 中3評定 6.0 点 □ 1.2年評定 2.0 点	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 360 点 □ 中3評定 324 点 □ 2年評定 108 点 □ 1年評定 108 点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 2.4 点 □ 中3評定 7.2 点 □ 1.2年評定 2.4 点

「内申点は大切だ！」という観点から、学校の定期テストの成果ばかりに目がいきがちですが、この地域で言えば、中堅少し上の安倍野高校以上は、すべて「タイプⅠ」を選択しています。(清水谷もタイプⅠへ変更されました)この「タイプⅠ」では、中1.中2時の評定ひとつの向上は「たった1.2点」にしかならず、これに対し入試当日の問題は、ひとつ3点の問題であれば、これが1問「4.2点」になります。英語・数学・国語では普通に出题されるひとつ6点の問題なら、なんと1問が「8.4点」に。

同程度の学力群が各高校を選択し、受験する訳ですから、もちろん内申点は大切です。ここをおろそかにしすぎると、「あ〜、無理やな…」と目指せるはずの目標がかすんでしまいます。ですが、数字だけで判断するなら、公立高校入試、特に「タイプⅠ」の高校を受験する際に大切になってくるのは、

- ①入試当日にどれだけ得点できるのか。
- ②「中3時の内申(確定は3学期評定)」をどれだけ伸ばせるか。…評定ひとつの向上が「3.6点」に。
- ③最後に1.2年生時の内申。…実は「1つ、たったの1.2点」

の優先順位を間違わないこと、となります。

ですから大切なのは、1.2年の時にどれだけ定期考査で高得点を獲得するか、ではなく、この時期にどれだけ「地頭(じあたま)」を鍛え、問題解決に向かうための素地をこしらえることができるかということ。そしてもちろん、短期的な成績向上ではない、「最後にならないとわからない学力の向上」を積み上げること。YNでは、1.2年時であっても生徒の嫌がる難問へ、時には取り組んでもらいますし、指導内容は少々難し目です。また、業者作成の模擬試験も多く実施し(中1.2年生は年6回/中3生は年9回)、学習塾本来の責務である学力向上をしっかりと測定していきます。

「アカン…」と子供たち自身が素直に思える失敗や少々の挫折も、我々は「良し」と考えます。学習塾側が、得点の向上だけを求め、管理指導をしすぎることは当方は反対です。「待つ」ことは、とても大変です。ですが、それが放棄でさえなければ、塾生たちは自ずから伸びていく…と考えています。目標を持つこと・あきらめないこと・努力がやはり大切だということ・仲間はいいものだし、そしてなにより楽しむことが大切であること。そういった「キレイゴト？」も、まっすぐ伝えられる学習塾でありたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

YN教育学院



これからを生きる子供たちを前に
「ただのおっさん」ではられない。
約100インチの超大画面。
YNは電子黒板の導入教室です。

2016年夏 電子ホワイトボード導入

YNの教室自慢

約35年...

なかなか歴史のあるビル、
そして当教室ですが、
内部はかなりの

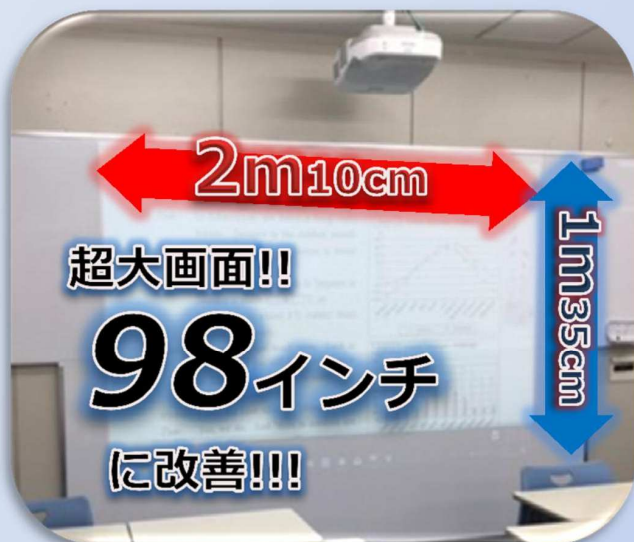
最先端です。

2018年春 **充実工事完了!!!**

...すでに卒業した生徒の皆さん、申し訳ない...

当教室は小さな個人塾ですが、こちらも日々勉強。

「**良いものはどんどん導入を!**」とがんばっております。



約100インチの超大型画面に生まれ変わりました!

(これまでは約60インチでした)

もちろんこの画面内で拡大も簡単にできますので、
メガネをかけたくないお年頃の中学生でも大丈夫! ?
...もちろん、メガネをかけてほしいですが.....

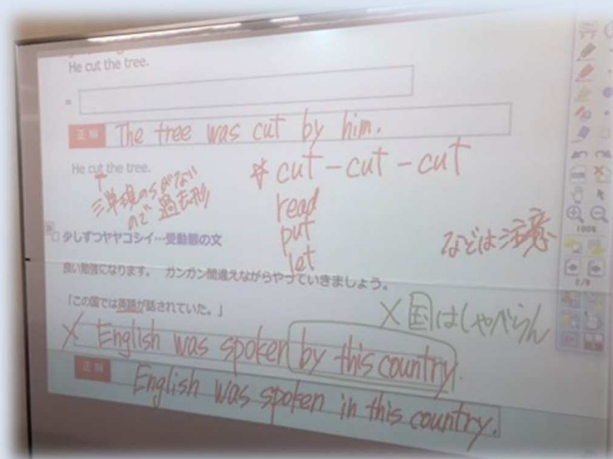
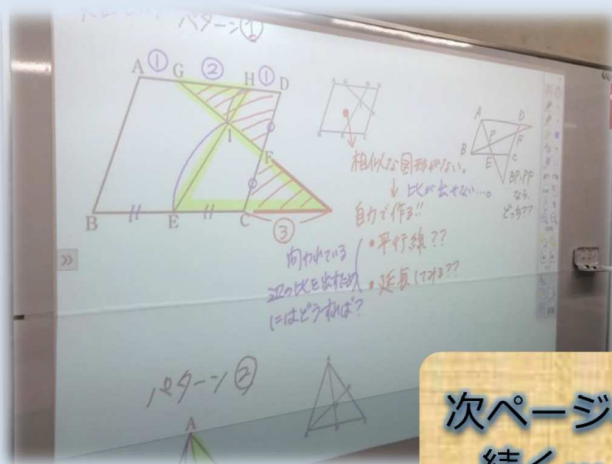
赤マルの部分おわかりでしょうか?

サイズ違いで一番わかりやすいこの教室のもの。
元々も大教室用である大きなホワイトボードを、
「2枚」大工さんに連結加工していただきました。

当教室で導入しているのは【**電子ホワイトボード**】

単にテキストや画像などを投影するだけでなく、
電子ペンで直接書き込み、授業を進めていきます。

乱雑な文字と言葉の板書ですが、
拡大してご覧いただけると幸いです。



板書は【**データ**】としてパソコン上に**保存**。

前回の授業内容を表示しての**復習**が容易です。

もちろん、印刷やデータ送信が可能。

新規単元の学習中での欠席や、理解不足の生徒への
指導時、特に威力を発揮すると考えています。

次ページへ
続く...



2 対話を聞いて、内容に合うものを2つ選び、記号で答えなさい。 TRACK 17 (2点×2)

1 Mika is telling Tom when she will leave Kyoto.
イ Tom is asking Mika who lives in Kyoto.
ウ Mika doesn't know how she can go to Kyoto.
エ Tom hasn't decided what he will do during his winter vacation.
オ Mika is asking Tom whose birthday is on January 5.
カ Mika is telling Tom what sport she likes.

リスニングの練習も実施

1:36 / 2:21

ウ (順不同、各2点)

もちろん、純粋なプロジェクターとしての機能も活用しています。

- 生徒自身の解答や、塾外の問題集の質問を…
→講師のスマホを經由してスクリーンに投影。より視覚的な指導が可能に。
- 「縁側」「観葉植物」「熱帯雨林」…実物を見たことがない生徒へ…
→ネット検索画像を表示。見た方が理解も早いのですものね。
- 以下のようなデジタル教材…

地震のゆれの伝わり方 本当はどんどん良くなっています。これを使わない手はありません!!!

